

## 沖縄国際海洋博覧会とは？

### ●開催の目的と経過

1975年（昭和50）7月20日、沖縄北部にある本部町で「海一その望ましい未来」をテーマに、沖縄の日本本土復帰を記念し、経済・文化振興、国際理解を目的とした**沖縄国際海洋博覧会**が開幕しました（開会式は7月19日）。1976年（昭和51）1月18日まで  
の会期中、350万人が来場し、世界で初めて海洋をテーマにしたこの博覧会は、沖縄が日本に復帰したことを国の内外に示しました。沖縄県は、県内財界および県民から資金を募って「沖縄館」を出展し、沖縄の歴史と文化を紹介しました。

また、海洋博の開催に伴って、沖縄自動車道の新設、国道58号線をはじめとする主要道路や空港、港などの交通機関の整備、上下水道及びゴミ処理施設の設置等の公共事業が行われ、私たちの生活や環境に大きな影響を与えました。

### ●準備体制：琉球政府から沖縄県へ

海洋博の準備にあたり、琉球政府は1971年（昭和46）11月に行政主席を本部長とする「沖縄国際海洋博覧会推進本部」と、推進本部の事務を処理する「沖縄国際海洋博覧会準備室」を設置して、取り組みを強化しました。そして沖縄の日本復帰後、準備室の業務は「沖縄国際海洋博覧会協力局」に引き継がれ、総務課、県民運動課、計画調整室の3課体制で業務を進めました。

### ●海洋博関連資料の来歴

海洋博終了後、「沖縄国際海洋博覧会協力局」の文書は、1996年に沖縄県から公文書館に引き渡されました。

また、海洋博の主催者であり、通商産業省の監督下で事業を実施した「（財）沖縄国際海洋博覧会協会」関係資料も同年当館に移管されました（一部公開）。

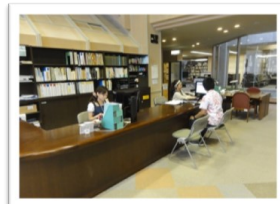
さらに、海洋博のシンボルであった人工島「アクアポリス」が1976年に沖縄県に譲渡された際に設立された「アクアポリス管理財団」に関する資料も、県の観光振興課を経て2001年に当館に引き渡されています。

## PATH FINDERとは？

パスファインダーは「道案内」を意味します。  
ある特定のトピック（主題）や資料群に関する情報を分かりやすくまとめたツールです。

### 《パスファインダー一覧》

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| 1. 飲食店マップ      | 16. 立法院会議録         |
| 2. 地籍調査 関係資料   | 17. 軽便鉄道           |
| 3. 家譜          | 18. 沖縄移民 関係資料      |
| 4. 市内バス案内      | 19. 宮森小学校ジェット機墜落事故 |
| 5. 新聞資料        | 20. アーカイブズと著作権     |
| 6. 軍雇用員カード     | 21. 沖縄国際海洋博覧会関係資料  |
| 7. 空中写真        | 22. 毒ガス移送 関係資料     |
| 8. 写真資料        | 23. 10・10 空襲       |
| 9. 沖縄戦 関係資料    | 24. 見学受付           |
| 10. 閲覧室へようこそ   | 25. 資料検索のコツ        |
| 11. はじめての公文書館  | 26. 通貨交換           |
| 12. 小・中学生の皆さまへ |                    |
| 13. 米国収集資料     | (令和5年4月30日現在)      |
| 14. USCAR 文書   |                    |
| 15. 対米国民政府往復文書 |                    |



かわいいことは  
閲覧スタッフまで♪



### 沖縄県公文書館 閲覧室

[9:00-17:00 休館日:月曜・祝日]

※閲覧申請の受付は16:30迄

〒901-1105

沖縄県南風原町字新川148-3

TEL :098-888-3871

FAX :098-888-3874

Email :reference@archives.pref.okinawa.jp

## PATH FINDER No. 21

# 沖縄国際海洋博覧会 関係資料



### ▶表紙図の説明

沖縄国際海洋博覧会カウントダウンタワー あと912日  
資料コード：0000108858 写真番号：041607  
『琉球政府関係写真資料 148』



沖縄県公文書館  
Okinawa Prefectural Archives

## 沖縄県公文書館所蔵の主な海洋博関係資料

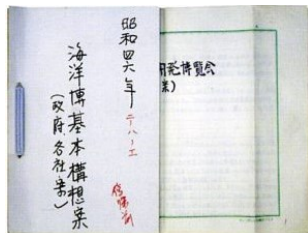
当館では以下の図のように様々な文書を所蔵しています。

出所 (移管元)	主要な所蔵文書
琉球政府 ↓ 沖縄県 ↓ アクアポリス管理財団	沖縄国際海洋博覧会協力局文書 海洋博推進本部 海洋博準備室 ↓ 沖縄国際海洋博覧会協力局 ↓ アクアポリス財団関係資料
日本政府 ↓ 沖縄国際海洋博覧会協会	沖縄国際海洋博覧会協会文書
個人	稲嶺一郎文書 吉田嗣延文書

## 沖縄国際海洋博覧会協力局の文書

協力局文書の主なシリーズ、サブシリーズには、以下のものがあります。

- 海洋博推進本部関係 (61冊)
- 補償契約関係 (41冊)
- 請願・陳情関係 (24冊)
- 本部海洋開発協会関係 (21冊)
- 海洋博跡利用関係 (11冊)
- 海洋博泉出展関係 (11冊)



- ① 沖縄国際海洋博覧会協力局文書 海洋博基本構想案 政府・各社案 1971年(昭和46) (P00013033B) ①
- 請願・陳情関係 国宛 昭和47年度 (P00013044B)
- 海洋博推進本部関係 企画調整部会資料 海洋博に伴う問題点及び対処策 昭和50年度 (P00013135B)
- 海洋博会場用地選定関係 (P00013030B)

※ ○ 内は資料コード

## アクアポリス財団関係資料

アクアポリスは沖縄国際海洋博のシンボルとして日本政府が出展した海上浮遊式の建造物で、のちに沖縄県に有償譲渡されました。県・那覇市・県内主要企業が出資した管理財団が再利用事業に乗り出しましたが、最終的には解散に至りました。1971年から1999年にかけてのアクアポリス建設、移設、再利用計画、管理運営に係る文書430点を所蔵しています。

- アクアポリス後利用計画報告書 (0000123978)
- アクアポリスの事業計画概要(原本綴り) (000123773)
- 「アクアポリスの再生」事業計画報告書 要約編 (0000123688)
- アクアポリス 工事用アルバム (0000124030)
- アクアポリス 図面 (0000123673)
- アクアポリス 運営報告書 (0000123674)

## 海洋博関連刊行物



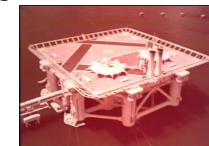
- ① 沖縄国際海洋博覧会 公式ガイドブック (G00005786B) ①
- ② 沖縄国際海洋博覧会 公式記録写真集 (G00014129B) ②
- ③ 沖縄国際海洋博覧会 政府出展報告 (G00014052B) ③
- 海洋博だより 第01号～第08号 (0000035900 他)
- 海洋博ニュース No.01～No.33 (G00022080B)
- 海洋博と沖縄経済の行方 (T00019324B)

参考資料室に沖縄国際海洋博覧会協会の刊行物が配架されています。また、所蔵検索のキーワードに「海洋博」、資料種別を「書籍」にして検索すると、書庫にある刊行物も閲覧申請できます！

## 海洋博関連映像

※館内閲覧のみ

- 沖縄海洋博 公式長編記録映像 (0000088463)  
(財) 沖縄国際海洋博覧会協会 151分
- 海洋博が残したもの 中村靖リポート (T00015182B)  
RKB毎日放送 28分54秒  
放送日1976年1月12日 放送分とカット屑。  
海洋博会場の模様と本土資本のホテル進出による地元ホテルの不安、インタビュー。
- 海洋博シリーズ (T00015146B)  
RKB毎日放送 63分37秒
- 朝日ニュース 沖縄関係2 (T00022486B)  
日本映画新社 朝日新聞社 10分51秒  
海洋博に関するニュース映像がある。(「近づく海洋博」、「EXPO75、海洋博沖縄」)
- 糸満のハーリー 海洋博EXPO'75 船祭 (0000096970) 作者不明 11分55秒
- アクアポリス (0000072242)  
シュウ・タグチ・プロダクションズ 25分  
三菱重工広島造船所での建造からの会場の本部町での公開までを追い、その構造的特徴や海洋博客の反応などをまじえて紹介している。  
(右図、映像資料から一部抜粋)



## 写真が語る沖縄

★「写真が語る沖縄」とは…?

⇒沖縄県公文書館のHP上でご覧いただける、戦中戦後の写真です。琉球政府関係写真資料や、沖縄県関係写真資料、米国収集写真資料などがあり、約6万点以上がデジタル化されて館内やホームページでご覧いただけます。



「海洋博」(0000169402)  
写真番号: 074308

「海洋博会場」(0000169402)  
写真番号: 074300



「沖縄館内」(0000169402)  
写真番号: 074319